

第5学年1組 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：両城の町を守り隊 ～災害に備える～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性】

指導者 呉市立両城小学校 高橋 はるみ

日時 令和4年10月14日（金）
場所 呉市立両城小学校 第5学年1組教室
学年 第5学年1組（男子9名 女子15名 計24名）

単元について

○単元観

本単元は、本質的な問い「わたしたちは、地域とどう関わり、どう生きるのか」を基に構想した。地域の防災の取組や課題について調べ、両城の町を守るために「自分にできること」という視点から自らの課題を設定し解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性】を育成することをねらいとしている。

近年、毎年のように起こる多くの自然災害は、日本全国いっどこで命にかかわる大災害がおこってもおかしくない状況にあるということを私たちに教えてくれている。本校区においても、土砂災害における危険区域や高潮による被害が予想される箇所が多く存在する。

平成30年の西日本豪雨災害では私たちの住む呉市においても多くの甚大な被害をもたらした。しかし、何もしなければ、時間の経過とともに災害の恐ろしさや防災の視点は、薄れていきがちになる。

また、平成29年の「呉市子どもまちづくり事業」では、呉高専の学生たちと町の人々が協力して、イルミネーションで両城の町並みを表現し、呉に来られた観光客に両城の良さを感じてもらい、両城を訪れるきっかけを作ろうと200階段を飾った。このことを生かして、次年度の平成30年度は、両城小学校の児童とまちづくり推進委員会が協働して、7月の豪雨災害の被災者にイルミネーションを見てもらい、明るく元気になってもらおうと、200階段の「ちびっこ広場」に設置した経緯がある。このことについても児童の多くは知らない。

自分たちが住んでいる町をより良くしようと活動している人たちがいるということを知り、自分たちも町の活性化や防災のためにアイデアを出して、それが実現されるという過程により、児童の意欲的な活動が展開されることが期待できると考える。

本単元では、地域の活性化を願い、地域貢献をする人々に触れ、自分たちにできることを企画・実践させることで、地域の一員として、地域との関わりや生き方について、児童一人一人が考えをもつことができるよう展開する。その中で、児童は、身近な存在である地域の方々とのやりとりを通して、普段は見えにくい地域を支えている人の存在に気付き、自分たちが企画した活動を実行しようとする思いをもつことを期待している。このような学びの姿は、指導者が設定した本質的な問いを具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながると考える。

○児童観

本学級の児童は、地域に関心をもっている児童が多い。昨年度の総合的な学習の時間では、地域の井戸のポンプについて調べ、西日本豪雨災害でも役に立ったことを学んでいる。そして、井戸水ポンプのことを地域に広めるためにパンフレット等の作成、配布を行い、地域のために自分ができることを活動した経験から、さらに地域のために何かをしたいという意欲をもっている。

しかし、地域の方の取組や防災の実際についての本当の意味での課題を知らない。また、自分一人で課題解決に向け、進んで資料や情報を集めたり、自分の考えを深めたり広げたりすることに関しては、主体的になれないところがある。そして児童が自ら問いを見出すことや、新たな問いを見出すことに課題がある。そのため、児童の視点に立って、主体的な学びを更に促していく手立てが必要であると考えられる。

本単元に関わる事前アンケート

- | | |
|---|-------|
| ① 「両城で起こりやすい災害」について知っている。 | 50.0% |
| ② 授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思う。 | 80.8% |
| ③ 授業では、課題解決するために、進んで資料や情報を集めている。 | 60.9% |
| ④ 授業では、友達と話し合いながら、自分の考えを広げたり深めたりしている。 | 83.4% |
| ⑤ 学習後、「もっと調べたい」「もっと考えてみたい」と考えている。 | 74.7% |

○指導観

指導に当たっては、次の2点に留意する。

【探究的な見方・考え方を働かせるための各教科等との関連】

探究的な活動を支える土台として、探究的な見方・考え方を働かせることをより重視し、各教科等を効果的に関連させ、横断的・総合的な学習を行う。

まず、社会科単元「国土の気候と特色」において、日本は地震や台風が多く、それらによる災害が多いことを理解させる。そこから両城の地域の地形の特色に気付かせ、どんな災害が起こりやすいのかという課題をもたせ、自分達ができることはないかという問いをもたせる。

また、国語科単元「事実と考えを区別しよう」で学習したことを生かして、課題を解決するために必要な情報を収集し、自分の考えを整理させる。国語科単元「新聞記事を読み比べよう」で学習したことを生かして発信する場を設定する。自分たちが地域に貢献できることとして、どのような表現であれば、自分たちが伝えたいことを伝えることができるのか、考えさせていく。

このように、各教科等との関連を児童にも意識させ、自分たちの課題解決のために、各教科等での学びが活用できることを実感させたい。

【児童が自ら問いを見出すためのしかけ】

単元を通して、本質的な問い「わたしたちは、地域とどう関わり、どう生きるのか」を意識させ、「自分と地域との関わり」や「自分の生き方」に関わって、児童が自ら問いを見出すことや、新たな問いを見出すことができるよう、しかけを入れて単元構成を工夫する。

単元前に、昨年度の「ポンプ」の活動をふり返り、災害に関する意識を高める。

単元の導入では、「西日本豪雨災害」の被害の様子の動画を見る活動を取り入れたり、防災出前講座でVR体験を行ったりする。実際に今災害が起こったら、どう行動すればよいのかを考えさせ、問いをもたせる。

第2次では、「防災について地域の実態やニーズを調べて、解決策を考えよう！」という課題で取り組む。実際に校区内を歩いて危険な箇所を発見し、今あるハザードマップと比べたり、地域の人の声を聞いたりすることで、両城の町の人々の困っていることや課題を実感する。

第3次では、第2次で調べた自分達の地域の課題を受けて、「災害に備えて、明るい両城の町にするために自分たちができることを発信しよう！」という課題をもち、自分たちがそれぞれ企画し、実行する活動を考えさせる。

単元を通して、防災と明るい町づくりについて調べる活動が、「自分は地域とどう関わるか」といった一人一人の課題意識をもつことにつながると考える。また、地域の一員として、自分たちにできる地域貢献の取組を実行させ、達成感を味わわせることで、自分たちの力が地域を創っていくことを感じ、今後、地域の課題解決に向け、更に主体的に地域と関わっていく姿を期待している。

	<p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害にはどんなものがあるかを考える。(1時間) ○ 災害後の校区の様子を地域の人から話を聞いたり，調べたりする。(2時間) <p>【国語科「事実と考えを区別しよう」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害が起こったら，どう行動すればよいかを考える。(1時間) ○ 校区のハザードマップを調べる。(2時間) <p>整理分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた情報を整理し，分析する。(2時間) <p>新たな課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 整理・分析した情報を交流し，自分達ができることを話し合う。(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決のための方法を考えようとしている。(ワークシート，発言) ・ インタビューや調べ学習によって，目的や対象に応じた調査活動を実施し，収集した情報から，自分の考えを整理している。(行動観察，ワークシート，発言) ・ 両城の町の防災に取り組む人の存在やまちづくりに積極的に取り組んでいる人がいることを理解している。(ワークシート，発言) ・ 課題解決のための方法を考えようとしている。(ワークシート，発言) ・ 進んで校区のハザードマップを調べている。(行動，発言) ・ 防災に関する課題を解決するために集めた情報から，自分の考えを整理している。(ワークシート，発言) ・ 両城の町のために自分たちができることを考えようとしている。(ワークシート，発言) 	<p>主体性①</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p> <p>知識・技能①</p> <p>主体性①</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p> <p>主体性①</p>
<p>二 (2時間)</p>	<p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に歩いて，校区内の危険なところを発見して，ハザードマップと比べる。(8時間) ○ 地域の人にインタビュー調査する。(5時間) <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フィールドワークで見つけたこと・知ったことから改訂版安全まちづくりマップを作成する。(7時間)【本時】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューや調べ学習によって，目的や対象に応じた調査活動を実施している。(行動観察，ワークシート，発言) ・ インタビュー調査を実施し，災害に対して地域の人には様々な課題を感じていることを理解している。(ワークシート，発言) ・ 両城の町の防災に関する課題を解決するために必要な情報を分析し，よりよい内容や効果的に伝える方法を考えている。(行動観察，ワークシート，発言) 	<p>知識・技能②</p> <p>知識・技能②</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p>

災害に備えて
地域のために自分達ができることは何だろうか

	<p>【国語科「新聞記事を読み比べよう」】</p> <p>○ 地域ごとに作成した防災ハザードマップを発表する。(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決のための方法を考え、探究活動に進んで取り組もうとしている。 (行動観察, ワークシート, 発言) 防災の発信は地域の人にとって必要なことであり, それらを守るために取り組んでいる人がいることを理解している。 (ワークシート, 発言) 相手や目的に応じて, ICT機器等を活用し, 分かりやすく表現している。(ワークシート, 発言) 	<p>主体性①</p> <p>知識・技能①</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p>
<p>三 (10時間)</p>	<p>整理・分析</p> <p>○ 防災について知ってもらうために, 自分たちはどうのような地域活動ができるか考え, 企画する。(2時間)</p> <p>○ 考えたアイデアが実現可能かどうか検討する。(3時間)</p> <p>まとめ・表現・振り返り</p> <p>○ 地域の人たちに自分たちで考えたことを発信する。(4時間)</p> <p>○ 自分たちで取り組んだ「 」から見えてきたことは何かを考える。(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わりの中で, 異なる意見や他者の考えを受け入れながら, 自分ができることを考え, 実践しようとしている。(ワークシート, 発言) 防災への発信は地域の人にとって必要なことであり, それらを守るために取り組んでいる人がいることを理解している。 (ワークシート, 発言) 相手や目的に応じて, ICT機器等を活用し, 分かりやすく表現している。(行動観察, ワークシート, 発言) 相手や目的に応じて, ICT機器等を活用し, 分かりやすく表現している。 (行動観察, 作品, 発言) 防災の取組と自分たちとのつながりを理解することは, 探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 (行動観察, ワークシート, 発言) 	<p>主体性②③</p> <p>知識・技能①</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p> <p>知識・技能③</p>

本時の展開

(1) 本時の目標

改正版安全まちづくりマップの内容や発表の仕方を見直して, 保護者や地域の方に伝わるように改善策を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

両城の町の防災に関する課題を解決するために必要な情報を分析し, よりよい内容や効果的に伝える方法を考えている。【思考力・判断力・表現力②】

(3) 学習の展開 (第30時/全45時間)

分	学習活動 ☆主な発問	指導上の留意点	資質・能力の評価 (評価方法)
4 1	1 これまでの学習を振り返る。 2 本時の学習課題を知る。 ☆改正版安全まちづくりマップの内容をもっと分かりやすくするには、どうしたらよieldろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子の写真などを見せて共有し、これまでの学習を確認する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて 改正版安全まちづくりマップをより分かりやすい内容にするための改善策を見つけよう。</p> </div>			
10	3 作成した改正版安全まちづくりマップを見直す。 ☆①②の視点でどのような改善ができるだろうか。 ・個人で予想する。	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい説明とは何かをおさえるために①根拠を述べているか、②聞き手(保護者、地域の方)に伝わるか、の2点をマップの見直しの視点としておさえる。 	
15	4 グループで改正版安全まちづくりマップを発表し合い、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 発表を聞いたグループが、内容の改善点をまとめ、交流するように伝える。 安全マップで伝えるポイントをおさえているかに注目して発表を聞くようにさせる。 改善点だけでなく、真似したい良い点も見つけるように促す。 	
10	5 アドバイスされたことを生かして、もう一度見直し、グループで話し合う。 ☆アドバイスを聞いて、どんなところを改善すればいいだろうか。		<ul style="list-style-type: none"> 両城の町の防災に関する課題を解決するために必要な情報を分析し、よりよい内容や効果的に伝える方法を考えている。 <p>【思考力・判断力・表現力②】 (行動観察, ワークシート, 発言)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>まとめ</p> <p>わたしたちの〇〇グループでは、分かりやすく伝えるために～をしようと思います。なぜなら、～からです。そのために、これからは～をしていきます。</p> </div>			

5	6 本時を振り返るとともに、今後の学習の見通しをもつ。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>振り返り</p> <p>【振り返り例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして危険なのかの説明をもっと詳しくしないと伝わりにくいことに気がきました。 ・ 友達から意見をもらうことによって、より伝わりやすい改訂版安全まちづくりマップにするための改善点が具体的に分かりました。 ・ これから説明の仕方を見直して、聞き手に伝わりやすいように練習をしていきたいです。 </div>			

(4) 板書計画

両城の町を守り隊 ～災害に備える～

めあて 改訂版安全まちづくりマップをより分かりやすい内容にするための改善策を見つけよう。

【改善の視点】

説明

① 根拠を述べているか。

② 聞き手（保護者，地域の方）に伝わるか。

- ・ 初めて聞く人，地域のことに詳しくない人にも分かりやすい内容になっているか。

資料

- ・ 写真や図は効果的か。

マップ

まとめ わたしたちの〇〇グループでは、分かりやすく伝えるために～をしようと思います。なぜなら、～からです。そのために、これからは～をしていきます。